

薄形油圧シリンダ

YUKENの薄形シリンダ“CBY14シリーズ”は従来のシリンダと比べ、全長が1/3とコンパクトになっていますので、従来のシリンダではスペース的に無理な場所にも取付可能です。

経済的な選択が可能

使用圧力と使用回数の選択により16MPaまで使用が可能です。

軽量・コンパクトな設計

シリンダチューブとカバーの一体化により小さなスペースにも取付けられますので、省スペース化が可能になりました。また、本体に特殊アルミニウム合金を使用した軽量タイプです。

豊富なバリエーション

シリンダ内径φ32~φ100、支持形式、ロッド形状、スイッチ付等豊富な機種を用意しました。用途に合わせてお選びください。

高耐久性のロッドブッシュとピストン

ロッドブッシュとピストンは耐摩耗性を向上させるため、特殊銅合金を採用しました。

容易なメンテナンス

本体や配管を取外さずに、ロッドブッシュを、緩めるだけでパッキン交換ができるなど、メンテナンスが極めて容易です。

使用上の注意事項

- ロッド押側出力で使用する場合、ピストンロッドのねじ部に力がかからないようにロッド端面までねじが締まるようにしてください。
- ピストンロッドには横負荷(偏心荷重)は作用させられませんので、取付時の調整は注意してください。
- シリンダを初めて運転する時には、必ず配管部から空気抜きを行ってください。空気抜きが終わったら、圧力を下げた状態でシリンダを運転し、徐々に圧力を使用圧力まで上げてください。
注) CBY14シリーズには空気抜きはありませんので、配管部から空気抜きを行ってください。

- シリンダの取付は六角穴付ボルト(JIS B1176、強度区分10.9以上)を4本ご使用ください。
- 取付ボルトを使用する場合、ボルトのねじ径の80%以上を取付部材にねじ込んでください。取付部材は材質:SS400相当の強度があるものを使用してください。
- 取付ボルトをナットにて締める場合は、鋼製ナットを使用し強度区分6以上の物を選定してください。(但し3種は使用しないでください。)
- シリンダ本体を取付ボルトで固定する場合は、必ず右表の規定トルクを目安に締付けてください。

本体取付ボルトの締付トルク表

シリンダ内径	取付ボルトサイズ	締付トルクN・m
φ32	M6×1	5.9
φ40	M8×1.25	14.0
φ50	M10×1.5	28.0
φ63	M12×1.75	49.0
φ80	M14×2	77.0
φ100	M16×2	120.0

- 複動形両ロッドのピストンロッド先端ねじを締める場合は、必ず締める側のロッド二面幅を使用してください。両ロッド形のピストンロッドはねじで締結しているためピストンロッド両端に回転する力がロッドに掛からないよう注意してください。

■複動形片ロッド



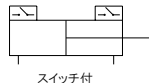
標準形 CBY14



スイッチ付 CBY14L

JIS油圧図記号

標準型



スイッチ付

■複動形両ロッド



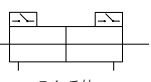
標準形 CBY14N



スイッチ付 CBY14LN

JIS油圧図記号

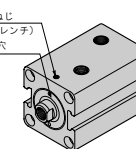
標準型



スイッチ付

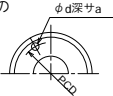
分解・組立時の注意

- ブッシュは止めねじを取り外した後、ブッシュの回り穴を利用して、シリンダ本体から取り外します。ロッド先端ねじの治具等を外す際ロッド二面幅にカエリが発生する恐れがありますのでやすり等でカエリを取り、後にブッシュを取り外してください。
- ピストンロッドとピストンは分解できません。
- シリンダを分解した場合、シール類(パッキン、ガスケット)はすべて交換してください。



- シリンダを組み立てる時はシリンダ内部にゴミ・鉄粉等の異物が入らないように注意してください。
 - 止めねじの下にブッシュのねじ保護用の銅棒が入っています。それを取り除いてからブッシュを締め付けてください。
 - ブッシュを締め付けた後パッキンセットに付属している銅棒を入れて止めねじを締め込んでください。
- パッキン交換について**
ピストンパッキン、ロッドパッキン、ダストワイパ、

- ブッシュ用Oリングが交換できます。
- ピストンロッド用Oリングは、ピストンとロッドにゆるみ止めを施していますので、交換できません。
- ブッシュ回り穴寸法



シリンダ内径	a	d	PCD
φ32	5	4	32
φ40	7	4	38
φ50	8	5	46
φ63	8	5	58
φ80	10	8	70
φ100	12	10	85